

寺
こよみ

七 月

一日 音沢お講
三日 宮繕部会
六日 若婦花の会
一〇日 シニア合宿
一一日 清掃奉仕

永代祠堂会

一六日十一時中陣お講
一時 総代会物故者
法要
一七日一時 戦没者追弔法
要
一八日一時 白鵠会物故者
寺族物故者法
要
七時半 お初夜
一九日一時 内陣法名法要
布教
高務哲量先生 16、17日
那須野浄英先生 18、19日
二四日 シニア合宿

寺報

善巧

発行
〒938-0862 富山県
下新川郡宇奈月町浦山497
白雪山善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975



蓮如上人500回遠忌法要 富山教区黒西組参拝団

永代祠堂会

七月十六、十九日

しどうきょう

十六、十七日 高務 哲量先生
十八、十九日 那須野浄英先生

「産経抄」を書いておられる名コラムニストの石井英夫さんが、ある雑誌に「蛙の遠めがね」という題の随筆を連載されている。最近この欄に「二つの歌集」と題して印象深い内容の歌が紹介されていた。

その一つが東京都青梅市にある特別養護老人ホーム九十九園の老人たちがうたった作品を集めた『九十九園歌集』である。

「激動の時代を生きてきた人びとのたくましい生命力と、物事の的を射ぬくるとい眼力に感嘆しないではいられない。」と前置きして、いくつかの作品を紹介されている。

「三河島四丁目に四十六年住んだ 主人は植木屋 私は駄菓子屋をした」

「働きぬいてここまで私 はやってきたけれど 針めどが通らなくてとても

かがやき

くやしい

青木きく 94歳

「針めど」は俗にいう針の耳、針の穴のこと。何も説明はいらない。名前と、年齢、そして作品をじっくり見るだけで充分である。老人は、場所と手段さえ手に入れば、驚くほど新鮮で豊かなことばの語り手なのだということがわかる。次は、好きな作品のひとつである。

「夏が来た鎌倉の海

おもひ出す 波打ち
ぎわで桜貝ひろった」

猿丸こま 78歳

仮に私が七十八歳になった時、一首に凝縮すべき人生の一こまは何なのであろうか。

人生の光と影はだれにもある。だが、その影の部分までも含めて、不断にかがやきあらしめんと働きつづけてある世界、それを宗祖は、「仏智の不思議」と仰せられた。

行信教校教授

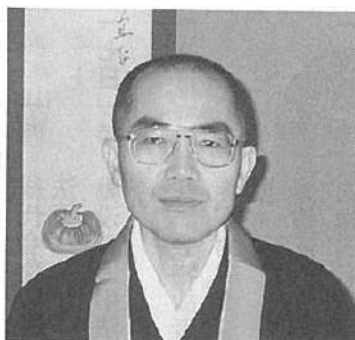
山本 攝先生

天岸

花

天岸浄圓先生ご法話

平成十年一月十五日
御正忌報恩講より



「ご承知かと思いますが、親鸞聖人は九歳で仏門に入りになられます。そして二十九歳で比叡の山をお下りになられました。二十年間、比叡山でご修行になつてらっしゃったことが、こういう書き出しでつづられています。

「山を出でて」とありま

す。「山を出でて」とは、ただの山のことじゃなくて、「比叡山」ということをあらわすわけでございます。これで、恵信尼様が、京都で生活なさっていらつしやうな方だということがわかるのでございます。京都の人が「山」と言いますと、普通は比叡山をあらわす言葉だったんです。

婦別居でいらつしやいました。現代人は夫婦別居で言いましたら、すぐに夫婦の危機などと考えます。現代人は自分のぐるりにあることばかりを見ますから、夫婦別居で言うとき、もう……なんかあつたんじゃないかって……。九十歳と八十一歳の老夫婦に何があつたのか……。そう目くじらたてずともええんですが、聖人は喧嘩別れして別居なさっていたのと違いますので、どうぞご心配ないよう

後の土地に帰り住まれたものと思われます。恵信尼様は一時期は京都にいらつしやうた、ひよつとしたら若い時分にもいらつしやうたかもしれません。さて「山を出でて……」ということとは、比叡山を捨てて京都の六角堂に百日間のお籠もりをなさったのでした。六角堂というのは、京都の町中、烏丸通り三条からちよつと南に下りましたら「六角」という地名があります。そこに六角堂頂法寺というお寺がございます。

度考えてみたいと思うんです。何で六角堂へ籠らねばならなかったのかということ。結論から言いますと、比叡山の上で仏道についてご相談申し上げるお方がもうおいでにならなかつたということでしょう。聖人は二十年間も比叡山にいらつしやうたんですから、そこでの縁はたくさんあつたはずでございます。ところがその比叡の山の上で、ご自分がお持ちになつた悩みに対して、きつちりとお導き下さるお方にお会いになることが出来なかつたんでしようね。だから、親鸞聖人は比叡の山でのご縁を捨てる覚悟で六角堂へ、百日間の参籠をなさつたと思われます。

で、私は、なぜ親鸞聖人は比叡の山に、おられることが出来なくなつたのか？ 何でお下りにならなければならなかつたのかを時折考えます。で、お坊さんには大ざっぱにいつて二通りのタイプがあると思うんです。

一つは、仏教の学者になるタイプ、学問の先生になるお坊さん。もう一つは、本当に修行して仏様にならしていたかどうかという願いをもつタイプです。いわゆる、学者タイプと修行者タイプと二つのタイプに分けることが出来るんじゃないかと思うんです。学者タイプっていうのは極端な言い方をすれば、物知りで終わっていきける人です。たくさんの方を知って、仏教の学問をして仏様とはこういうお方ですよ、ということをよく学び、人達に正確に教えていくお方です。学者はこれでいいでしょう。修行者タイプももちろん勉強するんですけど、それだけではおさまらないのです。特に親鸞聖人はそのようだったようです。親鸞聖人は真剣に仏様にならせたいたかどうかという願いをもったお方です。その願いの実現のために二十年間、仏様のことを学び修行を続けられたのです。二十年間仏様の

こと学んだら、さぞ多くのことを学ばれたことでしょう。学者だったら問題おこらなかったんです。たくさんの方の事を知れば知るほどいいんですから。でも親鸞様は知れば知るほど、仏様と離れてゆく自分が明らかになってくるんですね。仏様がわかればわかるほど仏様になれない自分が見えてくるんですよ。(つづく)

お得度・おめでとう

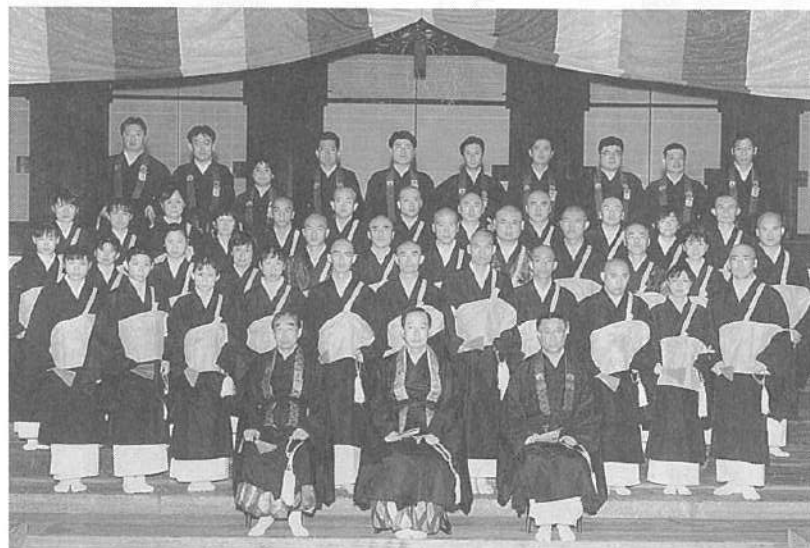
爽やかな五月十六日、初夏らしいお坊さんが二人誕生しました。

五月六日から十日間の西山別院での得度習礼は仲々きびしかったようですが、中央仏教学院研究科現役の康彦さんの頼もしさ、周囲もまきこむ有花の明るさで無事にきりぬけ、十五日夕

刻、感動の得度式を本山ご影堂で受けることができました。また、お念仏のお仲間が増えました。うれしい限りです。

釋尼彰顯

善巧寺長女 雪山有花 十一日間の習礼は非常に厳しいものでした。家に帰りたいと泣きそうにもなりました。でもお得度式の厳かな雰囲気、出所する時の晴れ晴



五月得度受式記念



写真左から二人目康彦さん、右端有花

れとしたすがすがしい気持ちも一生忘れないと思います。大谷本廟に報告に行った時、勸学谷を歩いて身のひきしまる思いがしました。善巧寺の本堂でご門徒のみなさんとお念仏を唱えた時、涙があふれてしまいました。たまにたまのご縁で同じ日に僧侶にならせていただいた三十人のお仲間にあえてよかったですと思います。

釋康心

法輪寺若院 高島康彦 皆さんはじめまして。法輪寺の若院、康彦です。この度、得度を終え法名「康心」を御門主様より頂戴いたしました。謹んで御報告申し上げます。さてこの度の得度により私も僧侶の端くれと成った訳ですが、これはあくまでも僧侶の形をした「人形の器」でしか在りません。本当の僧侶となるためには、この器に、御門徒さんが御み法を沢山入れて、一杯にして戴かねば成らないのです。どうかこの「人形の器」が、僧侶と成るべく、お育て下さいますように、宜しくお願いいたします。

蓮如上人五百回

遠忌法要に

おまいりしました

六月六〜八日



蓮如忌や みあかり遠く

風わたる

薫風や 念佛の声

堂に満つ

前坊守 喜子

〔本願寺新報〕より



ご門主さまと、前を歩かれる新門さま



一日三千五百人の参拝者（「めぐみ」より）



行信教校で勉強中の教隆もかけつけて



宿泊した門徒会館と新装の開法会館の前で

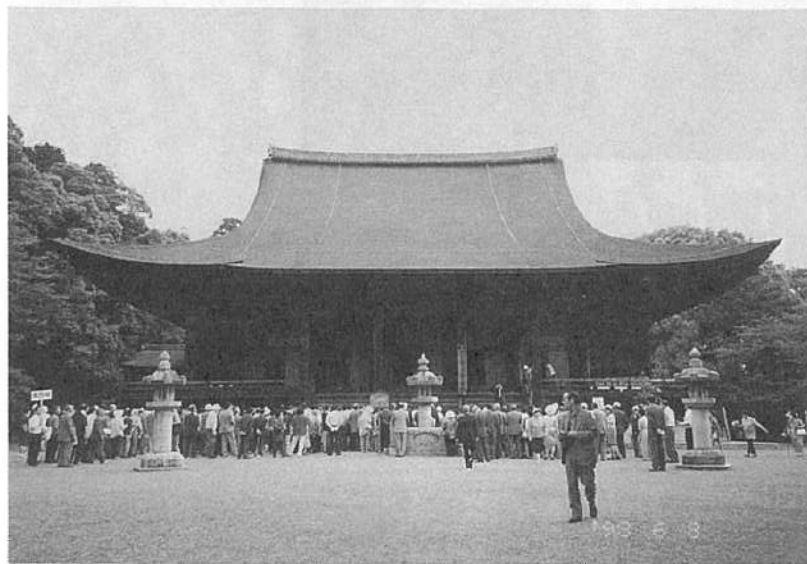
おかみそりをうけられた方々▼



三日市の朝野
好枝さん
ご主人要さん
のお納骨を



大谷本廟
明教院さまにごあいさつ
大谷本廟での納骨、参拝をすませて、短い時間ではありましたが、走るようにして勸学谷へ。中央に建立されている明教院さまのお墓にお礼を申し、入口の雪山家のお墓にもおまいりました。



三井寺
寛正六年
大谷本願寺
が焼き打ち
にされた時、
蓮如上人は、
三井寺万徳院の住持であった叔父長令阿闍梨のもとへ逃れられました。山内の近松寺が真宗で最初の別院となった大津の近松御坊です。蓮如上人は山科御坊に移られ、お札として親鸞聖人の御像と御自分の御木像を納められたそうです。

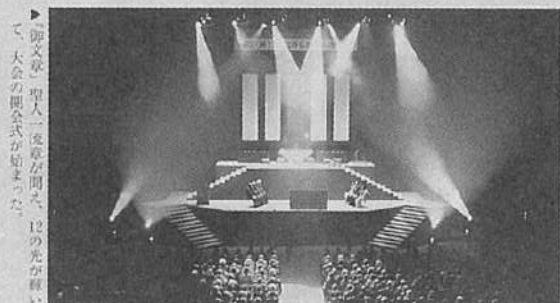


照行寺坊守
神子久美さん
法輪寺坊守
高島祥子さん

**世界仏教婦人会に
参加しました**

第11回世界仏教婦人会大会

期日：1998年4月10日 場所：大阪城ホール
Date：1998.4.10 Site：Osaka Castle Hall
Date：1998.4.10 Local：Salão de Convenções do Castelo de Osaka



右から、大会講師・岡百合子先生、都呂須孝文先生。左端作曲家竹田えりさん。

玲子坊守は、大阪城ホールの世界仏教婦人大会では総合司会を勤めました。(十四日の全国保育大会ではトークショーの講師も)

弘婦連盟機関誌「めぐみ」より

花の中の初まいり

4/26

この世に人として生まれた喜びと感謝を仏さまに。初参式を受けられた赤ちゃんたち（写真右から）。

山本稜太くん

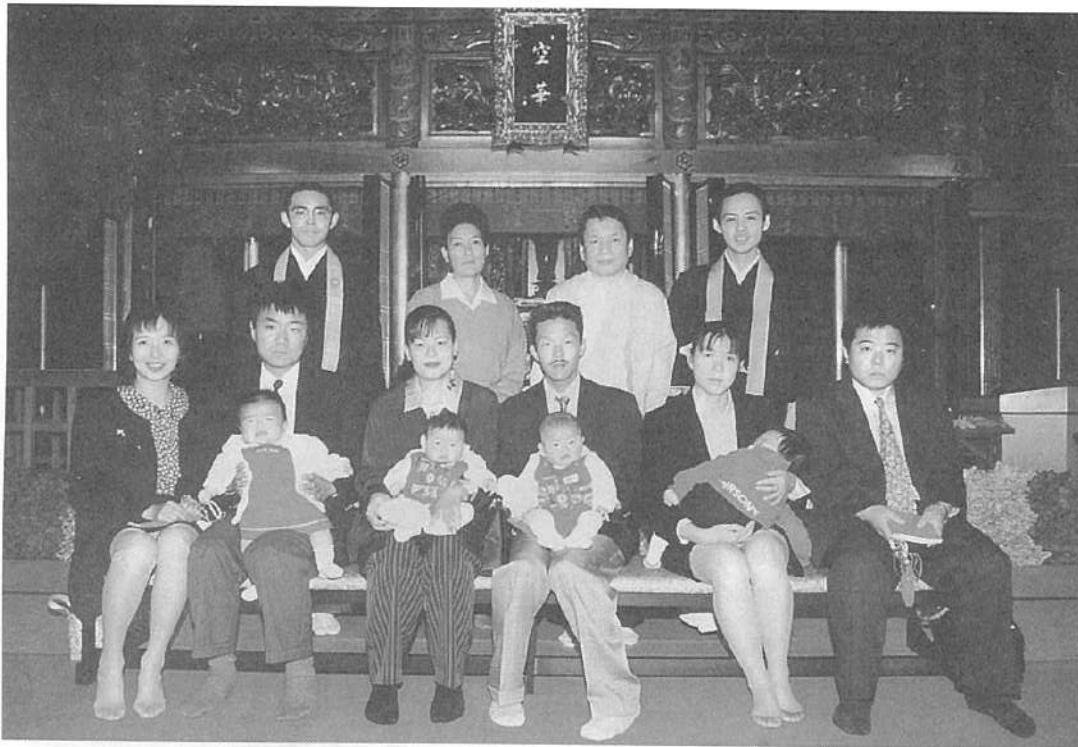
義信・ひろえ夫妻

柏原望月ちゃん 和博・博美

柏原悠月ちゃん ヌ夫妻

森田瑞希ちゃん

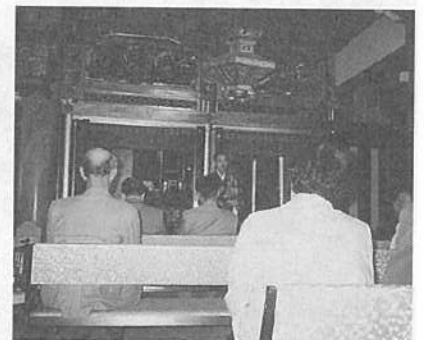
薫とも子夫妻



太子会法要

4/12

太子会法要が四月十二日に勤修されました。聖徳太子にちなんで、建設関係の方と総代が継職法要記念第二期工事について話し合いました。そのあと恒例のお花見と温泉に。今年の桜はいずこもすばらしく、浦山新、宮野山、天神山と満開のさくらを堪能しました。



野休み落語会

6/9

第二十一回野休み落語会は今年もたくさんの方々に参加してもらいました。開演三十分前からの永さんのお話は、たっぷり一時間。まず、名前がかわって、二

度目の来院の扇治さん。そして扇橋師匠。お名前かわってこれ又二度目の紙切りの林家小正楽さん。とりは小三治さん。みなさんたっぷり熱演で、終演は十時近くになりましたが、お客さまは大喜びでした。



常見寺副住職 仏前結婚式

5/30

前住職故隆弘法師の実家 大阪利井常見寺の副住職・利井宗明さんが五月三十日 梯實圓和尚の御司婚のもと 常見寺の如来さまの前で結婚式を挙げられました。お寺の本堂での結婚式は厳か



な中にも清々しく、喚鐘の響きも雅楽の音も心にしみ入るようでした。新郎新婦が阿弥陀さまの前で誓いのことばをのべられた時、これこそ仏教徒のあるべき姿であると感動しました。

あなたは神前？人前？

善巧寺の本堂での結婚式が少ないのは大変残念なことです。自宅のお仏壇におまいりしながら神さまの前で、キリストさまの前で、今では人の前というものはやっていると。一生に一度の大切な結婚の誓いをみずしらずの神さまや、ころころかわる心を持った人

どうか仏前結婚式を

前で誓うことを不審に思いませんか。迷ってはいませんか。自分の人生をどこへ向かって生きていくのか、どう生きるべきか。私たちは阿弥陀さまに願われたかけがえのないいのちを生かされていることに気がつかせていただきます。

かけがえのない伴侶に出あえた喜びを仏さまに感謝し、仏さまに誓いましょう。

それでも外国の教会で。

ロスアンジェルス教会で、ハワイの教会で挙式したという話も聞きます。そんなに外国がいいのならすてきなお寺を紹介しましょう。



アラメダ寺院

アメリカにも真宗のお寺が

昨年十月、坊主が全米仏教婦人大会にお招きをうけカリフォルニア州のフレズノ、アラメダ、ロスアンジェルス、別院、お寺をおたずねしました。いずれにも信頼のおけるご輪番、ご住職がおいででした。小さなかわいなお寺から大きな別院まで形はさまざま。アラメダ寺院はサンフランシスコのすぐ近く。ロスアンジェ

ルス別院は、大都会の近く。新婚旅行にも適しているのでは？。



ハワイ別院

希望の方はお寺まで

ハワイ別院で挙式なさったお嬢さんが「祖父は腰痛で式には参列できませんでしたが、私たちがハワイの阿弥陀さまの前で合掌して誓っている時、祖父は自宅のお仏壇の前に座って合掌してくれました」と語っています。

どうぞお寺へご相談下さい。大切な結婚式を悔いのないものにして下さい。



ハワイ別院結婚式

寺 ことみ

八月

一日 石田生地中新お講

一日 本山ご助成会

一日夜 シニアお寺座公演

三日 シニア福井公演

七日 雪ん子鹿兒島公演(一)

八日 〃 (二)

一日 花の会

一三日 青年盆会

一四日 こども盆踊り練習

一五日 こども盆踊り



一六日 盆会

二四日 音沢ご助成会

二四日 雪ん子会宿

二九日 雪ん子夏の公演

寺 ことみ 九月

六日 雪ん子福岡町公演

七日 高岡浄誓寺家族婦人会おまいり

一七日 偲ぶ会

永代祠堂会

七月十六～十九日

永代祠堂会はお寺を護る門徒の皆さん全員のご先祖のご法事です。必ずおまいり下さい。

◎総代会物故者法要

十六日 午後一時

◎戦没者追弔法要

十七日 午後一時

◎仏婦白鵠会物故者法要

十八日 午後一時

◎寺族物故者法要

◎お初夜

十八日 夜七時半

◎内陣法名法要

十九日 午後一時

ご講師

高務 哲量先生

十六～十七日

那須野浄英先生

十八～十九日

◎おときの用意をしてお待ちしています。

◎本山懇志を出された方、記念品が届いています。

ご寄進

花の会 三人掛椅子寄付

ご本山の大法要はご影堂が全席椅子に、あちこちのお寺でも椅子が多くなりました。善巧寺では若婦花の会が、足の痛い方に喜んでいただければと三人掛けの立派な椅子五脚を寄進して下さいました。



清掃奉仕お願い

七月十一日午前八時半

祠堂会を控えての清掃です。ご協力よろしくお願ひします。(雨天順延)

本山ご助成会

八月一日十時、一時半

午前十時、午後一時半の二座ですが、間の十一時半にいつも通りお講がつとまります。どうぞごゆつくりおまいりください。

ご講師 行信教校教授

山本 攝先生



ウツラバンナ青年盆会

八月十三日午後七時半

本堂で荘厳な音楽法要、その後は境内、会館で親睦をかねておいしいものに舌つづみをうって、楽しい時間を。

こども盆おどり

八月十五日夕七時

年に一度のこども盆おどり。かき氷、水だんご、わた菓子、ヨーヨー、缶つみなどなど。お孫さんどうぞ。

盆会

八月十六日午前十一時

お盆のおつとめ、法話、総代会食があります。

雪ん子劇団シニア
観望風公演デビュー公演

桃次郎の冒険

脚本：倉田忠雄 演出：松子
演出：倉田忠雄 演出：松子
演出：倉田忠雄 演出：松子

8/1(土) pm7:30

シニアお寺座公演
8月1日午後7時半

合 掌

うれしいことがいっぱいありました。

本山団体参拝。相次ぐ葬儀の為住職と高島さんが不参加で残念でしたが、三十六名で賑やかに行ってきました。丁度日曜日だったので新門さまもご出勤。「ありや若はんけ」と大喜び。ご門主さまのご親教で「各家庭に、アパートに、下宿にお仏壇をおいてほしい。お寺からのお便りを発行していただきたい」とのお言葉を深くうけとめたことです。

法輪寺若院と有花の得度もうれしいことでした。隆弘がいたらどんな顔をしただろうと……。

世界仏婦の司会では沢山の方々に、特に昨年お会いした北米の方々にも喜んでいただきました。

